

## プログラム（指定演題）

1日目 8月27日(土)

12:20～12:30 開会・オリエンテーション

第1会場（テルサホール）

12:30～13:10 会長講演

第1会場（テルサホール）

座長：浅野 みどり（名古屋大学大学院）

### エンド・オブ・ライフケアと家族の癒し

古瀬 みどり（日本家族看護学会第23回学術集会 会長・山形大学）

13:15～14:10 特別講演 |

第1会場（テルサホール）

座長：古瀬 みどり（山形大学）

### 認知症高齢者と家族の支援 ～住み慣れた地域で最期までをその人らしく～

蓬田 隆子（株式会社リブレ）

14:20～15:40 シンポジウム1

第1会場（テルサホール）

座長：塩飽 仁（東北大学大学院）

荒木 暁子（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

### 子どもがいる家族へのエンド・オブ・ライフケア

S1-1 小児がん患児の家族へのエンド・オブ・ライフケア

名古屋 祐子（宮城県立こども病院）

S1-2 エンド・オブ・ライフにある成人がん患者の子どもの支援

阿部 啓子（静岡県立静岡がんセンター）

S1-3 わたぼうしの会の取り組みから

佐藤 律子（神奈川県立こども医療センター）

15:50～16:50 理事会企画

第1会場（テルサホール）

### 日本の家族看護における看護師に求められる能力

—看護基礎教育における家族看護学教育の充実を視座に—

池田 真理<sup>1)</sup>、本田 順子<sup>2)</sup>、中村 由美子<sup>3)</sup>、石垣 和子<sup>4)</sup>、  
浅野 みどり<sup>5)</sup>、荒木 暁子<sup>6)</sup>

1) 東京女子医科大学、2) 神戸大学大学院、3) 文京学院大学、4) 福井県立看護大学、  
5) 名古屋大学大学院、6) 千葉県千葉リハビリテーションセンター

「渡辺式」家族アセスメント／支援モデル その7  
—“「渡辺式」看護介入システムモデル”の紹介—

柳原 清子<sup>1)</sup>、木村 藍子<sup>2)</sup>、藤井 淳子<sup>3)</sup>、澤田 紀子<sup>4)</sup>、今井 美佳<sup>5)</sup>、  
福山 幸子<sup>6)</sup>、横田 益美<sup>7)</sup>、浅野 悠佳<sup>8)</sup>、樋口 薫<sup>9)</sup>

1) 金沢大学、2) 東海大学医学部付属病院、3) 東京女子医大病院、4) 東京医科大学病院、  
5) 佐久総合病院、6) 在宅療養支援ステーション「楓の風」、7) 訪問看護ステーションけやき、  
8) 広島大学病院、9) 厚木市立病院

『家族看護エンパワーメントガイドライン』の臨床への導入と看護介入の評価  
—家族らしく最期まで生活していくことを支える看護—

池添 志乃<sup>1)</sup>、畠山 卓也<sup>2)</sup>、星川 理恵<sup>3)</sup>、関根 光枝<sup>4)</sup>、野嶋 佐由美<sup>1)</sup>、  
中野 綾美<sup>1)</sup>、田井 雅子<sup>1)</sup>、榎本 香<sup>1)</sup>、岩井 弓香理<sup>1)</sup>、升田 茂章<sup>5)</sup>

1) 高知県立大学、2) 公益財団法人 井之頭病院、3) 高知大学医学部附属病院、  
4) 日本赤十字広尾訪問看護ステーション、5) 奈良県立医科大学

突然の出来事に直面した家族の反応をとらえる ～救急事例から～

竹村 淳子<sup>1)</sup>、真継 和子<sup>1)</sup>、松本 修一<sup>2)</sup>、泊 祐子<sup>1)</sup>、八尾 みどり<sup>3)</sup>、  
宮田 郁<sup>4)</sup>、曾我 浩美<sup>1)</sup>、平山 五月<sup>5)</sup>、福嶋 松代<sup>6)</sup>

1) 大阪医科大学、2) 滋賀県立成人病センター、3) 大阪府三島救命救急センター、  
4) 大阪医科大学附属病院、5) 淀川キリスト教病院、6) 関西看護専門学校

座長：佐藤 幸子(山形大学)

脳腫瘍の治療とケア ～高度実践看護師への期待～

櫻田 香(山形大学)

共催：山形大学医学部看護学科同窓会 樹氷会

## 2日目 8月28日回

10:30～11:30 教育講演

第1会場(テルサホール)

座長: 齊藤 律子(山形大学医学部附属病院)

### エンド・オブ・ライフにおけるがん患者のスピリチュアルケア

田村 恵子(京都大学大学院)

13:00～14:00 特別講演 II・市民公開講座

第1会場(テルサホール)

座長: 大竹 まり子(山形大学)

### 人生の最終章をどこで誰と ～ものがたりの力～

佐藤 伸彦(ものがたり診療所)

14:10～16:00 シンポジウム2

第1会場(テルサホール)

座長: 後藤 順子(山形県立保健医療大学)

原 礼子(慶應義塾大学)

### 最期まで自宅で暮らし続けるための家族ケア

S2-1 エンド・オブ・ライフを見据えた退院支援

後藤 慶(北村山公立病院)

S2-2 食を支える立場から

池田 百合子(ゆにしあ)

S2-3 在宅の豊かさと百歳の煌めき

折居 和夫(折居内科医院)

S2-4 遺族の立場から

荒井 幸子

9:00～10:20 教育促進委員会企画1

第1会場(テルサホール)

### 家族支援専門看護師の教育機能の活用による家族看護実践の普及

山口 桂子<sup>1)</sup>、中野 綾美<sup>2)</sup>

1) 日本福祉大学、2) 高知県立大学

## 事例研究のすすめ方 ～家族看護実践を蓄積するために～

泊 祐子<sup>1)</sup>、伊藤 隆子<sup>2)</sup>、上野 里絵<sup>3)</sup>、上別府 圭子<sup>4)</sup>、河原 宣子<sup>5)</sup>、  
 中山 美由紀<sup>6)</sup>、奈良間 美保<sup>7)</sup>、真継 和子<sup>1)</sup>、野島 敬祐<sup>8)</sup>、深堀 浩樹<sup>9)</sup>、  
 山口 桂子<sup>10)</sup>、荒木 暁子<sup>11)</sup>、山崎 あけみ<sup>12)</sup>、池田 真理<sup>13)</sup>、小林 京子<sup>14)</sup>、  
 キタ 幸子<sup>4)</sup>、藤原 真弓<sup>15)</sup>

1) 大阪医科大学、2) 順天堂大学、3) 東京医科大学、4) 東京大学大学院、5) 京都橘大学、  
 6) 大阪府立大学、7) 名古屋大学大学院、8) 宝塚大学、9) 東京医科歯科大学、10) 日本福祉大学、  
 11) 千葉県千葉リハビリテーションセンター、12) 大阪大学大学院、13) 東京女子医科大学、  
 14) 聖路加国際大学、15) 淀川キリスト教病院

## 臨床における家族看護実践教育(レベルⅠ；初心者編)の開発

中村 由美子<sup>1)</sup>、大橋 優紀子<sup>1)</sup>、藤野 崇<sup>2)</sup>

1) 文京学院大学、2) 近畿大学医学部附属病院

家族支援 CNS 登場！ —“仲良き家族は美しいのだろうか？”  
 —現場志向の家族アセスメント/調整の実際—

松本 修一<sup>1)</sup>、石渡 未来<sup>2)</sup>、森川 真理<sup>3)</sup>、園川 雄二<sup>4)</sup>、榎本 美由貴<sup>5)</sup>、  
 三枝 真理<sup>4)</sup>、佐藤 律子<sup>6)</sup>、櫻井 大輔<sup>7)</sup>、宇都宮 望<sup>8)</sup>

1) 滋賀県立成人病センター、2) 横浜市立市民病院、3) 公立大学法人横浜市立大学附属病院、  
 4) 東海大学医学部附属病院、5) 富士見台ひまわり診療所、6) 神奈川県立こども医療センター、  
 7) 神奈川県立足柄上病院、8) 元東海大学医学部附属病院

## 家族看護実践の事例研究を考える：

## 「日本の現場発看護学」の開発を目指す実践者と研究者の協働モデル

山本 則子<sup>1)</sup>、池田 真理<sup>2)</sup>、野口 麻衣子<sup>1)</sup>、岩戸 さゆき<sup>3)</sup>、辻村 真由子<sup>4)</sup>、  
 吉岡 大晶<sup>5)</sup>、柄澤 清美<sup>6)</sup>、吉田 滋子<sup>1)</sup>、上別府 圭子<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院、2) 東京女子医科大学、3) 大阪発達総合療育センター 訪問看護ステーションめぐみ、  
 4) 千葉大学大学院、5) 千葉科学大学、6) 新潟青陵大学

地域に家族看護実践者を支える仕組みをつくり継続するために！  
～岡山家族看護研究会15年の軌跡から～

橋本 眞紀<sup>1)</sup>、小郷 彩<sup>1)</sup>、前久保 恵<sup>2)</sup>、上坂 智子<sup>2)</sup>、樋口 妙子<sup>1,3)</sup>

1)岡山家族看護研究会、2)姫路大学、3)倉敷中央訪問看護ステーション

家族看護に生かすペアレンティング・プログラム  
トリプルP(Positive Parent Program)の多様性

澤田 いずみ<sup>1)</sup>、江上 千代美<sup>2)</sup>、浅利 剛史<sup>1)</sup>、渡邊 真理<sup>3)</sup>

1)札幌医科大学、2)福岡県立大学、3)元札幌市保健師

機能不全家族の問題と介入方法

日下 修一<sup>1)</sup>、和田 佳子<sup>2)</sup>

1)聖徳大学、2)共立女子大学

高周波電磁界の健康リスク評価  
—WHOの国際電磁界プロジェクトを中心に—

大久保 千代次(一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター)

共催:一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター

終末期の排尿管理はどうあるべきか?

鈴木 康之(東京都リハビリテーション病院)

共催:株式会社リリアム大塚

地域で支える小児在宅医療 ～それぞれの役割と連携～

増田 夏実(医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所 新松戸)

小松 江美(社会福祉法人三條会 地域相談支援センター それいゆ)

山田 直美(セコム船橋本町訪問看護ステーション)

共催:セコム医療システム株式会社